

北と南の交流32年 「コロナを乗り越え」

香美市と新たな絆の歴史を

10名が香美市を訪問

8月4日、高知県香美市と積丹町の姉妹都市盟約20周年記念行事が同市立中央公民館で行われ、積丹町から松井町長、岩本町議会議長など10名が出席しました。

記念式典では依光香美市長が「今後もお互いの地域特性を生かし、育んできた交流を礎として友好と繁栄を一層推進し、深めていきたい。」と挨拶。松井町長も「長かったコロナ禍の困難を乗り越えた今だからこそ交流の絆の歴史が、新たな地方創

生の原動力となり、貴重な両市町の財産になる。」と交流の絆への感謝と今後に期待。また、盟約20年の記念として、積丹町は同市特産品（柚子・生姜）を原料にクラフトジンを、同市は積丹町のボタニカル（香草植物）を用いたクラフトビールを製造中です。

土佐山田まつり

合同チームの演舞を披露

翌5日には、第55回土佐山田まつりが催され、9チーム総勢363人の踊り子が躍動しました。来場者は約2,000人と積丹町の人口を超える市民や観光客が商店街の沿道に駆けつけ、4年ぶりの開催に終日賑わいました。

本町の踊り子3人も加えた総勢28人の「ヤーレンソーラン積丹町&香美市チーム」は、息の合った演舞を披露し、振付・衣装・チームワーク・笑顔の4つの審査項目が優れたチームに贈られる『デザイン賞』を受賞しました。

初めて同市を訪問した踊り子3人は酷暑の中、約2時間笑顔で和気あいあいと約2キロメートルの間で8回の市内パレードと、納涼祭ステージでの競演に臨みました。



▲商店街パレード競演



▲門脇館長（左から2人目）による施設案内

合併17年の市勢を視察

香美市は、平成18年3月に土佐山田町、香北町、物部村の2町1村が合併し、誕生しました。

岩本町議会議長、鎌田地域間交流推進協議会長など訪問団は、高知県高知市の桂浜水族館、香南市の井上ワイナリーのいち醸造所、旧香北町のTOSA CO（合同会社高知カントリーニューブルワリー）の地ビール工場見学や、昨年11月開設した香美市立図書館「かみーる」（＝写真右下）は、大人から子どもまで幅広い利用者に寄り添った施設づくりや香美市産材による、CO2の削減をコンセプトとした文教施設など、

香美市誕生18年目の市勢を視察し、知見を広げました。

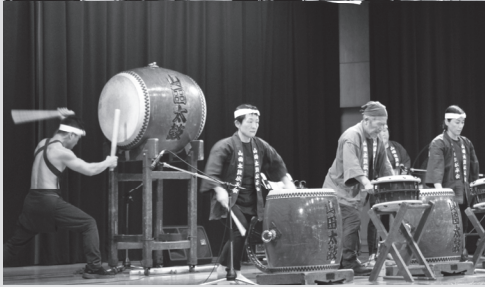
香美市商工会から寄贈された姉妹都市盟約記念「フラフ」



▲町総合文化センター1階ロビーに展示



▶記念式典



▶山田太鼓演奏



【左から】依光香美市長、松井積丹町長、長谷川参議院議員3者による公開対談（8月4日）



町内各小学校の夏休み期間中、B&G海洋センターを活用して、多くの友達と一緒に思い出づくりに励みました！

「朝活どう場」で学習

7

月27日・28日の2日間
は、夏休み「朝活どう場」が行われ、参加した児童は各小学校教師の指導を受けながら、それぞれ持ち寄った夏休みの宿題に取り組みました。この学習活動は2日間で24名の児童が参加し、褒められる体験がやる気につながっている様子で、宿題を済ませた児童は自ら問題集を選び、自発的な学習に繋がりました。



また、「朝活どう場」終了後には「B&Gジュニア水泳教室」が行われ、1年生から6年生までの児童がそれぞれの泳力に合わせたグループで水泳指導を受けました。2日間で17名の児童が参加し、主に低学年は水慣れのプログラムやキック練習、高学年はクロールの泳法やフォームづくりを中心に水泳活動に取り組みました。



また、「朝活どう場」終了後には「B&Gジュニア水泳教室」が行われ、1年生から6年生までの児童がそれぞれの泳力に合わせたグループで水泳指導を受けました。2日間で17名の児童が参加し、主に低学年は水慣れのプログラムやキック練習、高学年はクロールの泳法やフォームづくりを中心に水泳活動に取り組みました。

郷土の自然の中で 経験を身につける

8

月1日・2日の2日間
は、自然体験活動を行う『少年教室「B&G自然体験プログラム」』が行われ、延べ46名の児童が参加しました。1日目は講師指導のもと、テントの張り方や自然の木々、コンクリートブロックを組んだり、火のつけ方を学んだほか、デコキャンダルを使ったクラフトキャンダルを製作しました。2日目は、ライフジャケットを着用し美国川で活動したほか、ストーンペインティング体験を行いました。参加した児童は、自然体験活動を通じて仲間との共助の意識や、親から離れて生活する自立心を育みました。

また、「朝活どう場」終了後には「B&Gジュニア水泳教室」が行われ、1年生から6年生までの児童がそれぞれの泳力に合わせたグループで水泳指導を受けました。2日間で17名の児童が参加し、主に低学年は水慣れのプログラムやキック練習、高学年はクロールの泳法やフォームづくりを中心に水泳活動に取り組みました。



B&G水泳競技会参加

令

和5年度B&G北海道ブロック・スポーツ交流交歓会「水泳の部」

が8月6日、美幌町B&G海洋センターで行われ、全道11市町の海洋センターから総勢71名の選手が参加しました。

積丹町ジュニアスイミングクラブのメンバー13名が、日頃の練習の成果を競い合ったほか、全道の各海洋センターやスイミングクラブとの交流を深めました。



高齢者叙勲

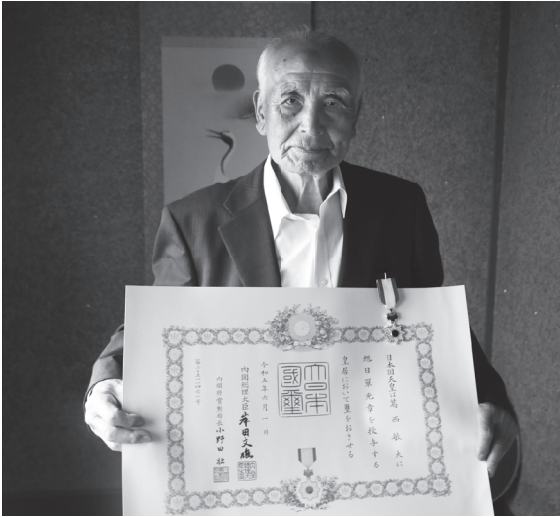
〈地方自治の振興・

障害者福祉の増進に尽力〉

葛西 敏夫さん（美国町）
旭日単光章

元積丹町議会議員の葛西敏夫さん（美国町・88歳）が令和5年6月1日付で旭日単光章を受章され、8月18日にご自宅で松井町長より勲記と勲章が伝達されました。

葛西さんは平成13年に町議会議員に初当選から16年間、平成25年から令和3年までの8年間は、積丹町監査委員として、地方議会の振興発展と公正で効率的な行財政の運営に尽力されました。



また、18年余にわたる積丹町身体障害者福祉協会長として本町の障害者福祉の増進と、同団体の組織運営の強化に大きな貢献をされました。葛西さんの受章を祝福し、ますますのご活躍をお祈りします。

岬の湯しゃこたん改修プロジェクト

～積丹産ポタニカルを活用したサウナなど整備着々と～

（株）SHAKOTAN GO（五十嵐 慎一郎代表取締役）の魅力づくりを目指す「岬の湯しゃこたん」の露天風呂・浴室・サウナ室・厨房、給湯配管機械設備等の改修や、簡易宿泊施設、展望テラス新設などの具体化の状況について、五十嵐社長からお話を伺いました。



▲五十嵐 慎一郎代表取締役

―改修計画の進捗状況は？

施設の目玉となる「ポタニカルサウナ」が今春、「夕日テラス（写真左下）」は、8月5日に完成しました。

また、飲食カウンターの整備も進めており、サウナ愛好家など長時間の滞在に配慮されるよう、株積丹スピリットの協力をいただき、お盆の連休限定でポタニカルドリンクを提供するなどサービスの充実を図っています。

他にも、地元の農水産物やオリジナルジン持ち帰りの需要の強化・促進にも力を入れています。

―昨年4月のオープンから、新しいサービスが増えたんですね。

最近では、机やソファを設置した休憩室奥のスペースでワーケーション活用する民間企業もみえてきました。

―今後、町民や利用者に楽しみに待っていてほしいことは？

9月2日(土)に岬の湯駐車場スペースを使って「祭りの音」

イベント開催です！

昨年よりもパワーアップし、町内の鯉場音頭保存会による正調鯉場音頭や商工会女性部の浜鍋が楽しめます。

大好評だったシャコタニアン音頭はもちろん、夜は花火も上がるので、一緒に夏を締めくくりましょう！他にも、12月スタートを目標に素泊まりスタイルの簡易宿泊施設として、ゲストハウスを準備中です。また、町内に書店がないので、本屋プロジェクトを始動予定です！ぜひ、お楽しみに！



令和5年 第4回町議会臨時会

議会ニュース

令和5年第4回町議会臨時会が7月28日に招集され、報告1件、議案2件が審議され、同日に閉会しました。そのあらましについてお知らせします。

審議された案件

報告第1号

専決処分の承認を求める件について（令和5年度積丹町一般会計補正予算（第4号））

保健体育費（海洋センタープール修繕料）300万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ34億6,522万3千円に補正したものを。

（承認）

（原案可決）

議案第1号

積丹町生活交通バス条例の制定について

中央バス積丹線（美国く余別間）の代替交通として10月から町が運行する「生活交通バス」を、新たな町の公の施設とするため、地方自治法第244条の2第1項の規定により同バスの設置・管理及び運賃等に関する事項を定める町条例を制定するもの。

（原案可決）

議案第2号

令和5年度積丹町一般会計補正予算（第5号）について

企画費（地域生活交通確保対策事業関連費）2,176万5千円、国の地方創生臨時交付金事業費3,847万8千円、老人福祉費（高齢者福祉施設（やすらぎ・のぞみ）改修工事費）4,000万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ35億6,546万6千円にしようとするもの。

地方創生臨時交付金 使い道

事業名	事業概要	事業費 (千円)	対象者	担当課
1 地域福祉交通支援対策事業	バス乗車券及びタクシー助成券の助成。 【助成額】 1世帯当たり5,000円	1,618	町民 ※対象制限あり	住民福祉課 (44-2113)
2 農業エネルギー価格等高騰対策支援事業	農業生産資材の購入費用助成支援。	1,370	農業者	農林水産課 (44-3382)
3 漁業エネルギー価格等高騰対策支援事業	漁船用燃油及び漁業生産資材購入費用助成支援。	4,130	漁業者	農林水産課 (44-3382)
4 商工観光業エネルギー価格等高騰対策支援事業	エネルギー価格等の高騰により、影響を受ける商工観光事業者の経営助成支援。	6,000	商工観光事業者	商工観光課 (44-3381)
5 生活応援券配布事業	町内で使用できる「生活応援券(商品券)」の配布。 【助成額】 1世帯当たり12,000円	7,015	町民 ※対象制限あり	住民福祉課 (44-2113)
6 高齢者等健康増進事業(ふれあい交流事業)	高齢者等の健康増進と閉じこもり防止に、町内3カ所の温泉等の「入浴優待券」を交付。	2,493	町民 ※対象制限あり	住民福祉課 (44-2113)
7 福祉灯油購入助成事業	価格高騰による冬期燃料の経済的負担軽減に、町内で使用できる「福祉灯油助成券」を配布。	3,294	町民 ※対象制限あり	住民福祉課 (44-2113)
8 低所得世帯支援給付金給付事業	価格高騰による非課税世帯の経済的負担軽減助成支援。 【助成額】 1世帯当たり30,000円	12,558	町民 ※対象制限あり	住民福祉課 (44-2113)
合 計		38,478	国交付金：28,652 町費：9,826	

※各事業の開始時期や対象者などの詳細は、IP告知端末や町内回覧でご確認いただくか、または、担当課へお気軽にお問い合わせください。